

# 目指せ!

# 管理栄養士



今年も、新入生合宿研修へ。  
これからは、さらに楽しみに。



## 万葉菊花園

越前市といえば、「たけふ菊人形」。いろいろな菊や栽培方法にビックリ!



## 座禅体験

「無」になって座っていること。これが実に奥深いのです…。



地元福井への愛着や友人とのつながりが、学ぶ力になっていく。

今年も行ってきました!新入生合宿研修。「学生同士の交流」「大学生生活の不安解消」「地元・福井越前市の再認識」を主目的とします。1日目は、まず万葉菊花園で「たけふ菊人形まつり」に展示する菊を見学、大学のある地元を再認識しました。次に向かったのは、しきぶ温泉・湯楽里。先輩からの学生生活アドバイスに皆が興味津々の時間となりました。2日目は永平寺での座禅体験の後、精進料理をいただきました。地元への愛着と、友人との深い交流を膨らませた2日間となりました。

## 先輩からのアドバイス

知りたかった大学生活のあれこれを、先輩が答えてくれました。



わたしたちも参加しました

健康栄養学科1年  
新保 佳代子  
| 高岡西高校出身 |

健康栄養学科は、A・Bの2クラスに分けられるため、クラス別の交流はあまりありません。今回の研修では、クラスに関係なく部屋のグループ分けがなされ、見学や食事などの行動を共にすることができました。



健康栄養学科1年  
黒坂 昇汰  
| 金津高校出身 |

男子は全員で12人。一気に仲良くなれました!万葉菊花園でお茶が作られていることなどはじめ、大学のある地元のことがわかって面白かったです。討論会では「時間の作り方」などを先輩に聞いたのが良かったです。



## 精進料理

感謝しながら素材を戴くこと。きっと、管理栄養士に通じる考え。



# 栄養教育論実習

対象者の状態を把握し、実態に即した栄養教育のプログラムを考え、実施する。その一連の流れを学びます。

対象者の目線で  
栄養教育を行う大切さ。

▶ 今回の講義  
「個別栄養教育の実演」

対象を「個人」に据えた栄養教育の実演です。個別栄養教育の実演は二人一組で実施し、自ら作成したリーフレットやフードモデルなどのツールを活用して行います。評価する観察者も学生が担当します。ポイントは「いかに対象者の実態を把握し、行動変容を促すためのやる気を引き出すか」です。



個人栄養教育の実演。評価する観察者も学生が務めます。



「栄養教育論実習」  
で学ぶコト

細田耕平 講師

対象者の実態を把握し、実態に即した栄養教育の内容を考え、実践し、評価する。この授業では、栄養教育の実践における一連のサイクルを体験し、学びます。子どもからお年寄りまで、様々なライフステージに合わせた栄養教育を行う実践力を、ぜひ身に付けてほしいと思います。



フードモデルを載せる栄養価・バランスなどがチェックできるSATシステム。

実演の前には何度もシミュレーションを繰り返します。



## 先輩から伝えたい、この授業の魅力！



いかに対象者の行動へ  
つなげるか。

全く知識のない対象者にも的確に理解してもらい、さらに実行してもらわなければいけません。知識の修得だけでなく、対象者の視点に立った伝え方の修得が重要です。

健康栄養学科3年 中出 千遥 (大野高校出身)



実情を知るための  
調査の重要性。

学内の学生を対象にした「栄養バランス」についてのアンケートを実施し、集計・分析・発表を行いました。意外な結果がわかり、対象者を知ることの大事さがわかりました。

健康栄養学科3年 山口 華奈 (武生高校出身)



生活背景まで  
把握した指導を。

対象者の状況に合わせて指導する大変さを実感しています。青年期、更年期、妊娠期といった時期だけでなく、生活背景まで理解してこそ、対象者に寄り添うことができます。

健康栄養学科3年 細川 芽 (金津高校出身)